

# 漁況予報 い わ し

## 第210号

【2018年11～12月漁期】

※1 平年：過去5年平均

※2 被鱗体長：口先から尾ビレの付け根までの長さ

### = 概況 =

#### 【マイワシ】

主要定置網におけるマイワシ総漁獲量は、9月は151トンで前年(90トン)および平年※<sup>1</sup>(100トン)を上回りました。10月は132トン(速報値)で前年(2トン)および平年※<sup>1</sup>(14トン)を大きく上回りました。

まき網は、東京湾側で漁獲がなく、相模湾側では餌イワシとして散発的に漁獲がありました。

魚体は、2018年生まれの被鱗体長※<sup>2</sup>(以下同)10～12cmの0歳魚が主体でしたが、10月中旬以降はウルメイワシに混じる程度となり、散発的な漁模様となりました。

#### 【カタクチイワシ】

主要定置網における9月のカタクチイワシ総漁獲量は、1.5トンで前年(0トン)並で平年(32トン)を大きく下回りました。続く10月の漁獲量(速報値)も1トンと前年(0トン)並で平年(4トン)を下回りました。

まき網は、相模湾側で餌イワシとして9月に僅かな漁獲がありました。

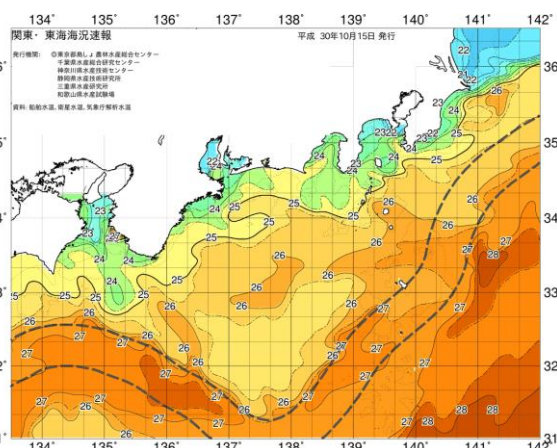
魚体は、6～9cmの0歳魚が主体でした。

相模湾では7～8月漁期に続きウルメイワシの来遊量が多く、カタクチイワシの姿は殆ど見えない2ヶ月となりましたが、東京湾では観音崎以北に多くいる模様です。

#### 【シラス】

8月は全域で大不漁だった相模湾のシラス漁ですが、9月に入っても好転せず低調に推移しました。湾全体での漁獲量(標本船データより推定)は、大不漁だった前年および平年を大きく下回りました(前年比0.7倍、平年比0.4倍)。

10月に入ると、大蛇行している黒潮の北上流路が前号で懸念したようなS字状にならなかったこともあり(右図参照)、ようやく好転し、秋シラス漁期入りとなりました(前年比3.4倍、



平年比 0.9 倍)。ただし、江の島以西では約 200kg/統/日で比較的安定していますが、三浦半島側は約 50kg/統/日で西高東低な漁模様となっています。

なお、茨城県～愛知県でも軒並み前年を上回る漁模様となっています。

## = 予 報 =

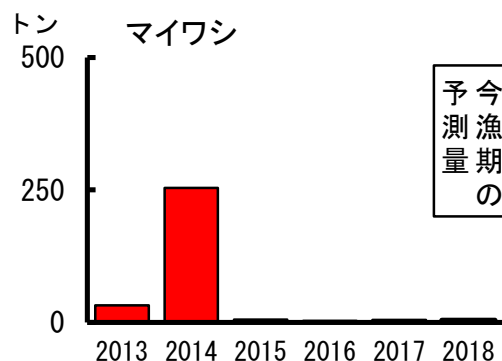
過去5年の11・12月漁期の漁獲量と  
今漁期の予測量

### 【マイワシ】

今漁期は、2018年生まれの小羽マイワシ(11~13cm)が漁獲の主体となるでしょう。

10月下旬には、相模湾から0歳魚は逸散したと思われます。

今漁期の漁獲量は、不漁だった前年並の約4トンと予測されます。

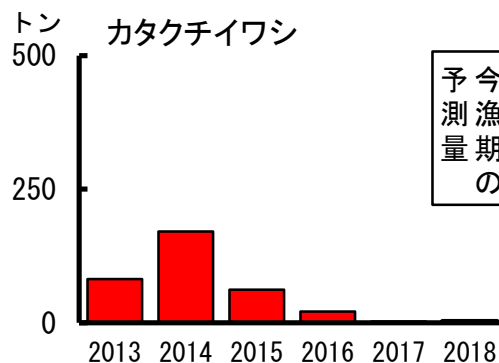


※グラフ縦軸：主要定置網+まき網

### 【カタクチイワシ】

今漁期は、2018年生まれの未成魚(6~8cm)が漁獲の主体となるでしょう。

この時期の未成魚は、夏シラスが成長したものとわれ、今漁期の漁獲量は、7、8月のカタクチシラスの漁獲状況から、不漁だった前年並の約4トンと予測されます。



※グラフ縦軸：主要定置網+まき網

### 【シラス】

今漁期は、カタクチシラス主体に11月はウルメシラスが、12月にはマシラスが混獲されるでしょう。

昨年は10月中旬に、大蛇行した黒潮の北上流路がS字状になるとともに、この時は三宅島以南で屈曲したことで、相模湾へのシラスの来遊に不適な環境となり、11月の漁獲量が伸びませんでした。今年はそのようにはならない模様です。

今漁期は約85トンと予測されます。

